

宮原青みかんLPP



私たちは有田みかんの生産途中で間引かれて、本来捨てられてしまう摘果みかん(青みかん)の価値向上を通じた地域活性化を目指して活動を行っている。今年はL活として再出発し、学生を主体として、前年度までの活動を継続した。

宮原盆BON祭り 屋台出店

昨年に引き続き、8月に有田市宮原で開かれた宮原盆BON祭りに参加し、今回で3度目となる青みかんサイダーの販売を行った。今回も多くの地域の方に青みかんサイダーを購入していただいた。このお祭りを通して、有田宮原の地域の方に、自分たちの活動や青みかんについて知ってもらうことができたと思う。



青みかんぼん酢

昨年度、則岡醤油製造元様との共同開発により商品化が実現した「青みかんぼん酢」は、今年度さらに販売を拡大した。新たに近鉄百貨店和歌山店での販売が実現し、大きな一歩となっている。今後もさらなる展開を目指し、多くの方に手に取ってもらえるよう取り組んでいく。



青みかん 摘果作業参加

実際に農家の畑へ伺い、草抜きと青みかんの摘果を行った。傾斜のある場所での草抜きは、暑さもあり大変であったが、その後、摘果のために再び訪れた際には通りやすくなっており、草抜きが大切な作業であったことに気づいた。摘果では、自らの手で実際に実を取ることで、青みかんをそのままにしておくのは勿体ないという思いを実感した。その結果、より一層、周囲の人々に青みかんを知ってほしいと考えるようになった。



スイーツ開発

昨年に引き続き、有田市の洋菓子店と、青みかんを使用したスイーツの共同開発に取り組んだ。試作品の試食までは実施し、味やアイデアの面では一定の手応えを感じたが、菌検査の基準をクリアできず、販売には至らなかった。この経験を通して、商品として世に出すためには、味やコンセプトだけでなく、衛生管理や検査体制など、多くの工程と課題があることを学んだ。

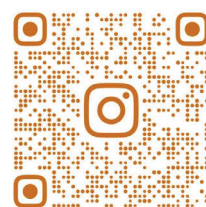
地域での イベント企画

昨年開発した青みかんぼん酢を活用し、地域の小学生に実際に味わってもらうことを目的とした交流イベントを開催した。当日は、小学生およびその保護者と共に、青みかんぼん酢を使用したハンバーグ作りを行ったほか、青みかんを題材としたクイズ大会も実施した。本イベントを通して、地域住民との交流を深めるとともに、自分たちの活動や青みかんの魅力を、より多くの人々に伝えることができた。



今後の展望

本年度はL活の初年度であったため、模索しながら活動を進める一年だった。その中で地域の方々との交流を通して、地域資源や人とのつながりの大切さなど、多くの学びを得ることができた。来年度は、SNSを活用した情報発信や青みかんを使ったレシピの開発に力を入れ、活動の幅をさらにひろげていきたい。



@MIYAHARA_MIKAN_LPP